

萩原朔太郎大全 2022 共同展覧会

80年の時を経て小豆島で繋がった4人の作家

2022年10月1日(土)～2023年1月10日(火)

【企画展】

二十四の瞳映画村 壺井栄文学館 開館時間：9時～17時

萩原朔太郎没後80年にあたり、朔太郎大全実行委員会（前橋文学館）が主催する「萩原朔太郎大全2022」の共同展覧会に参加。「80年の時を経て小豆島で繋がった4人の作家」と題し、萩原朔太郎、生田春月、壺井栄、壺井繁治の関係を再考し展示する。

観覧料：無料（但し 二十四の瞳映画村入場料が必要）

主催：一般財団法人岬の分教場保存会 壺井栄文学館

協力：前橋文学館 鳥取県立図書館

ご案内：萩原朔太郎大全2022 県内参加館 菊池寛記念館、坂出市万葉会館

※詳細は各館ホームページをご覧ください

【関連行事】

講演会「詩の中の映像、映画の中の詩」

日時：2022年10月9日(日) 13:00～14:00(開場 12:30)

会場：二十四の瞳映画村 松竹座

講師：萩原朔美(前橋文学館館長)

定員：30名(先着順※要予約 定員になり次第締め切り)

申込：電話受付のみ 壺井栄文学館(0879-82-5624)まで

料金：無料(但し 二十四の瞳映画村入場料が必要)

萩原朔美（はぎわらさくみ）プロフィール



1946年11月14日東京生まれ。映像作家、エッセイスト。

多摩美術大学名誉教授。金沢美術工芸大学客員教授。

母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。

1967年、寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷の立ち上げに参加、俳優・演出家として活躍。

著書に『「演劇実験室・天井桟敷」の人々』『毎日が冒険』『死んだら何を書いてもいいわ』『劇的な人生こそ真実』他多数。

2016年4月より前橋文学館館長。

2022年4月よりアーツ前橋アドバイザー。

壺井栄文学館 〒761-4424 香川県小豆郡小豆島町田浦甲 931 TEL：0879-82-5624



萩原朔太郎
大全2022